

# 東京都中小企業の景況

(平成17年2月調査)

平成17年2月22日

景況：ほぼ横ばいに推移し、鈍い動き  
見通し：悪化予想がわずかに強まる

産業労働局 商工部

## 《1月の景況》

- ◎都内中小企業の業況DIは前月とほぼ横ばいに推移し、鈍い動きとなった。業種別には、製造業が昨年5月以来の改善となったものの、他の3業種は横ばいないしは悪化となった。前年同月比売上高DIも製造業のみ横ばい、他3業種はいずれも悪化した。今後3ヶ月の見通しDIはやや減少し、悪化予想がわずかに強まった。製造業だけは横ばいに推移し、慎重な見方を継続。
- 1月の都内中小企業の業況DIは▲36(前月▲37)と前月に比べほぼ横ばいとなり、鈍い動きとなった。製造業は▲24と前月比7ポイント増になり、昨年5月以来の改善となった。一方、卸売業は▲39と前月比6ポイント減少し、連続の改善が止まり悪化した。サービス業も▲29と前月比3ポイント減でわずかに悪化。また、小売業は▲57(同▲57)と横ばいに推移した。
- 業種区分でみると、製造業では「化学・皮革」をはじめとして7業種区分中4区分で10ポイントを上回る増加となった。また、卸売業は前月の反動もあって全業種区分で悪化した。小売業は「耐久消費財」の悪化が目立つ。サービス業では「企業関連」が悪化、「個人関連」は改善となった。
- 前年同月比の売上高DIは▲39(前月▲33)と前月比6ポイント減で、動きの乏しい状態から悪化に変わった。業種別には、製造業のみが横ばいに推移。卸売・サービス業は前月比10ポイント、11ポイント減少し、大きく悪化した。小売業は連続の改善が途切れ、前月比5ポイント減と悪化した。
- 業種区分でみると、製造業では「化学・皮革」、「紙・出版・印刷」がともに大きく改善した。また、卸売業では前月大きく下げた「建築・住宅関連」のみが改善した。小売業は「食料品」を除く全業種区分で悪化した。サービス業でも「企業関連」、「個人関連」ともに悪化した。
- 当月と比べた今後3ヶ月(2~4月)の業況見通しDIは▲21(前月▲19)と前月比2ポイント減少し、悪化予想がわずかに強まった。業種別には、製造業が▲15(同▲15)と横ばいに推移し、慎重な見方を継続しているほか、卸売・小売・サービス業は前月に比べ5~6ポイント減少し、先行きに対し厳しい見方をしている。これまで比較的業況の良かった卸売業の「機械器具」が前月比21ポイント減少し、先行き懸念を増大させている。

## 景況指数表(業種)

・指標値(%):DI = 「良い」・「増加」等企業割合 - 「悪い」・「減少」等企業割合

調査規模	調査対象 企業数	4,250	1月の景況					今後3ヶ月の見通し			
			業 況	売(前 上月 比 高)	売(前 年同 月比 高)	仕(前 月比 格)	販(前 月比 格)	製品 商品 在庫	業(当 月比 況)	売(当 上月 比 高)	売(前 年同 期比 高)
全	体		▲36	▲22	▲39	▲5	▲11	10	▲21	▲16	▲33
製	造	業	▲24	▲16	▲26	15	▲11	6	▲15	▲9	▲21
	織	維・衣	▲43	▲16	▲44	3	▲9	6	▲11	▲9	▲33
	木	材関	▲33	▲39	▲55	7	▲22	5	▲34	▲32	▲48
	紙	・出	▲28	▲9	▲31	10	▲20	6	▲23	▲14	▲23
	化	学・皮	▲13	▲5	▲20	24	▲9	10	▲12	▲5	▲20
	金	属材	▲16	▲11	▲9	29	1	3	▲10	▲7	▲4
	機	械器	▲16	▲19	▲17	17	▲11	5	▲9	▲3	▲18
	食	料品	▲45	▲36	▲54	▲3	▲18	12	▲22	▲16	▲31
卸	売	業	▲39	▲20	▲36	▲15	▲5	16	▲21	▲13	▲30
	衣	料身	▲63	▲15	▲72	▲29	▲10	28	▲23	▲18	▲46
	食	料品	▲40	▲21	▲44	▲9	▲2	6	▲14	▲15	▲45
	日	用雑	▲39	▲19	▲41	▲20	▲12	22	▲21	▲17	▲30
	建	築・住	▲40	▲32	▲29	▲19	▲12	14	▲15	▲3	▲20
	化	学・金	▲35	▲15	▲19	▲11	5	13	▲19	▲9	▲16
	機	械器	▲19	▲15	▲18	0	▲2	12	▲32	▲21	▲30
小	売	業	▲57	▲34	▲60	▲21	▲16	6	▲36	▲27	▲54
	衣	料身	▲61	▲33	▲59	▲14	▲22	13	▲43	▲23	▲58
	食	料品	▲60	▲32	▲58	▲24	▲9	5	▲38	▲32	▲55
	日	用雑	▲57	▲26	▲57	▲19	1	12	▲22	▲21	▲41
	耐	久消	▲54	▲46	▲69	▲39	▲29	▲12	▲45	▲33	▲63
	余	暇関	▲49	▲36	▲64	▲8	▲26	8	▲30	▲24	▲52
サ	ー	ビ	▲29	▲18	▲39	-	▲12	-	▲16	▲17	▲35
	企	業	▲28	▲21	▲34	-	▲15	-	▲12	▲12	▲29
	個	人	▲34	▲13	▲54	-	▲4	-	▲31	▲35	▲54

(注) 1. 調査項目: 業況(良い・普通・悪い)、売上高(増加・ほぼ同様・減少)、仕入価格・販売価格(上昇・ほぼ同様・低下)、製品商品在庫(過大・適正・不足)。

2. 売上高: 製造業は生産額。  
3. 仕入価格: 卸売業・小売業は仕入高。  
4. 販売価格: サービス業は料金単価。

登録番号 15(98)

## 《規模別景況》

- 規模別業況DIは、「中小規模」がわずかに改善したが、「小規模」は前月比1ポイント減のほぼ横ばい、「中規模」「大規模」はともに前月比±0の横ばいとなった。規模の大小を問わず、前月とあまり変化のない状態となった。
- 前年同月比の売上高DIは、「小規模」「大規模」が前月比10ポイント、9ポイント減少し、ともに悪化となった。また、「中小規模」はわずかに悪化、「中規模」はほぼ横ばいとなった。中間規模の健闘が目立つ。
- 今後3ヶ月（2～4月）の業況見通しDIは、前月大きく落ち込んだ「中小規模」のみ改善し、見通しに明るさを増した。一方、「小規模」「中規模」「大規模」はわずかな減少となり、見通しに少し厳しさが加わった。

## 景況指数表（規模）

・指標値(%)：DI = 「良い」・「増加」等企業割合 - 「悪い」・「減少」等企業割合

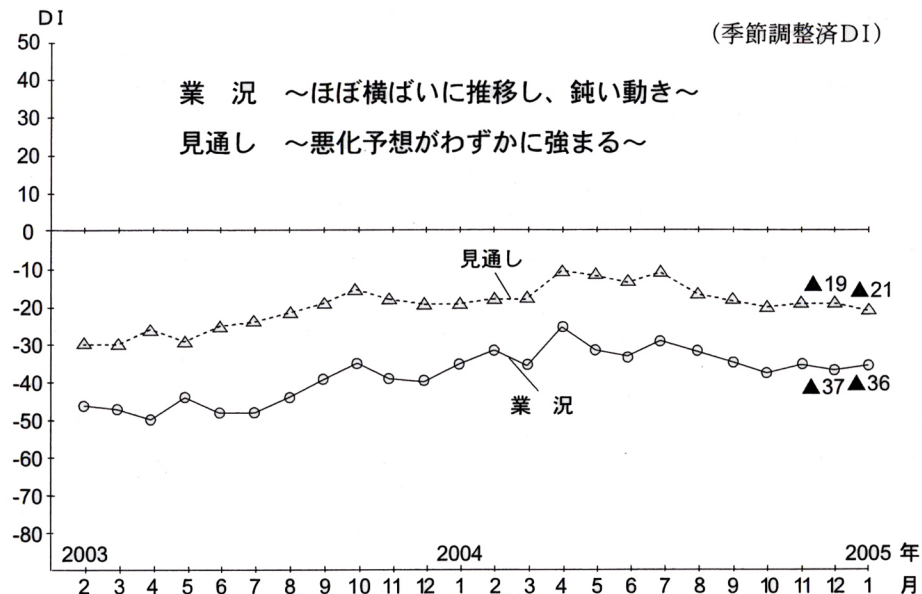
調査規模	調査対象企業数	4,250	1月の景況						今後3ヶ月の見通し		
	回答企業数	1,472	業況	売(前上月比)高	売(前年同月比)高	仕(前月比)格	販(前月比)格	製品商品在庫	業(当月比)況	売(当上月比)高	売(前年同期比)高
	回答率	34.6%	全	小規模	中小規模	中規模	大規模	全	小規模	中小規模	中規模
			▲36	▲22	▲39	▲5	▲11	10	▲21	▲16	▲33
			▲48	▲29	▲54	▲18	▲12	8	▲27	▲21	▲49
			▲37	▲22	▲37	▲7	▲12	3	▲20	▲14	▲34
			▲31	▲19	▲30	0	▲9	11	▲17	▲14	▲28
			▲23	▲10	▲22	6	▲5	20	▲7	1	▲12

(注) 規模区分：  
 小規模 製造業、卸売業、サービス業 (1～9人)、小売業 (1～2人)  
 中小規模 製造業、卸売業、サービス業 (10～19人)、小売業 (3～4人)  
 中規模 製造業、卸売業、サービス業 (20～49人)、小売業 (5～19人)  
 大規模 製造業、卸売業、サービス業 (50人以上)、小売業 (20人以上)

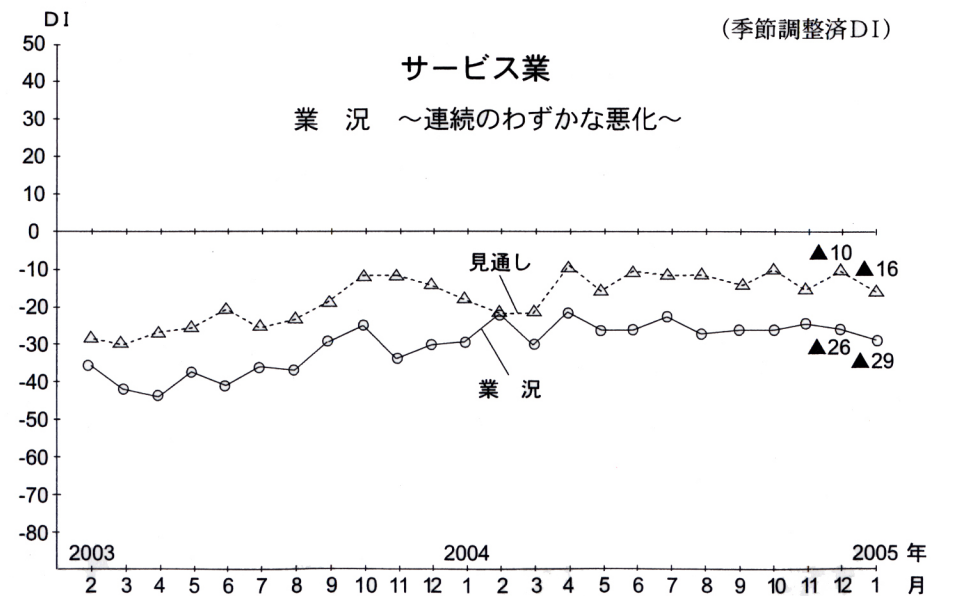
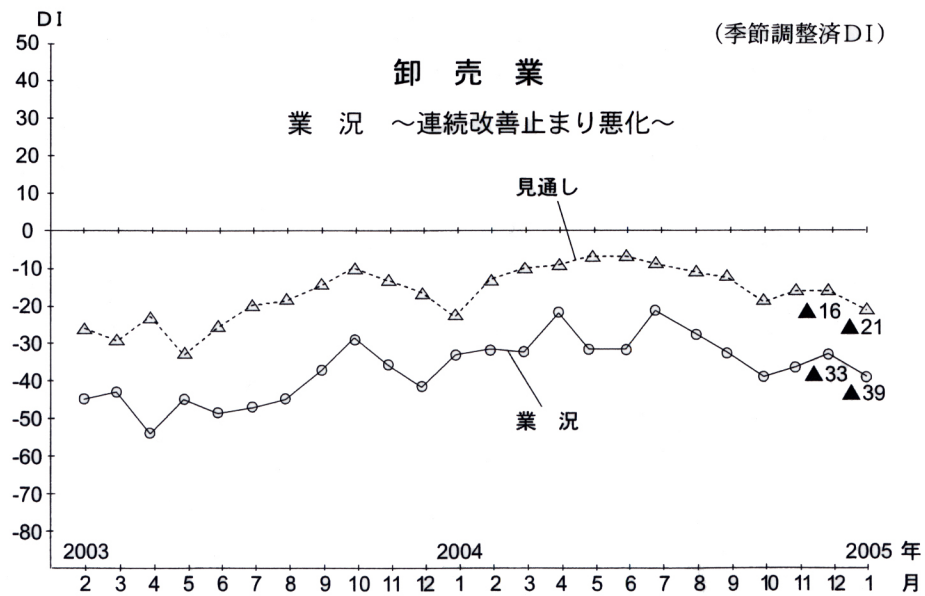
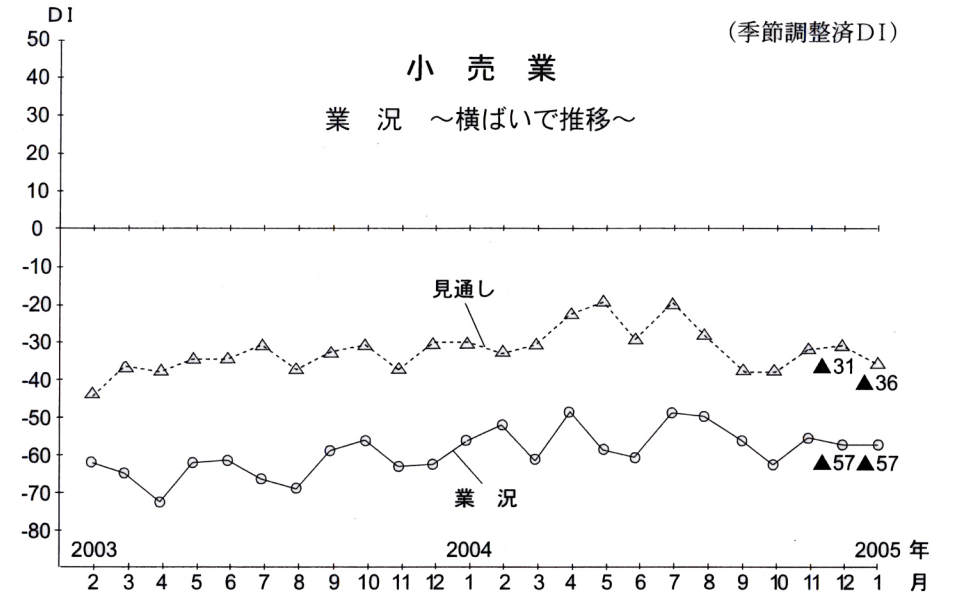
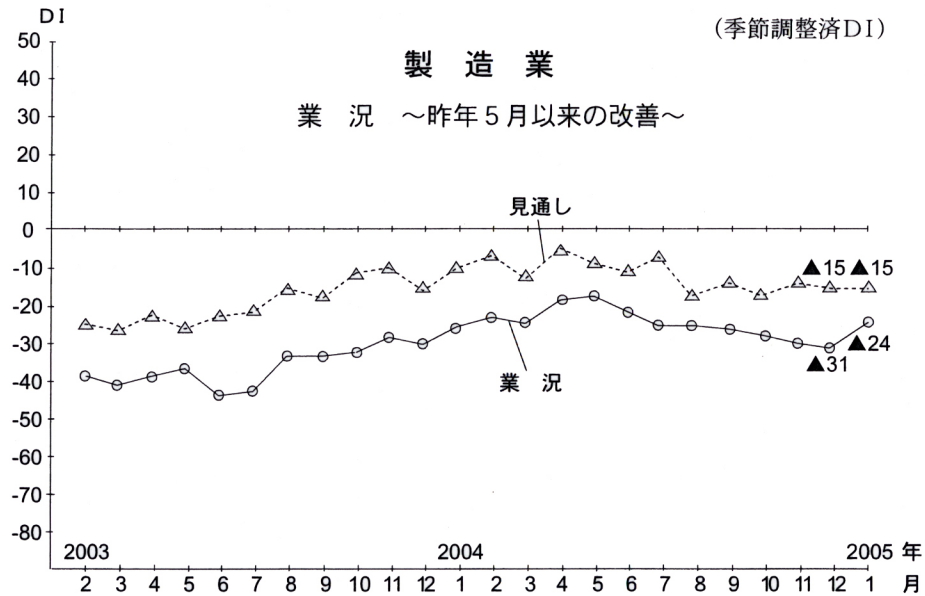
## 回答企業数

	対象数	回答数	回答率		対象数	回答数	回答率
全体	4,250社	1,472社	34.6%	小規模	789社	347社	44.0%
製造業	1,250社	456社	36.5%	中小規模	535社	258社	48.2%
卸売業	1,000社	395社	39.5%	中規模	639社	288社	45.1%
小売業	1,000社	319社	31.9%	大規模	523社	244社	46.7%
サービス業	1,000社	302社	30.2%	規模不明	1,764社	335社	19.0%

## 全体

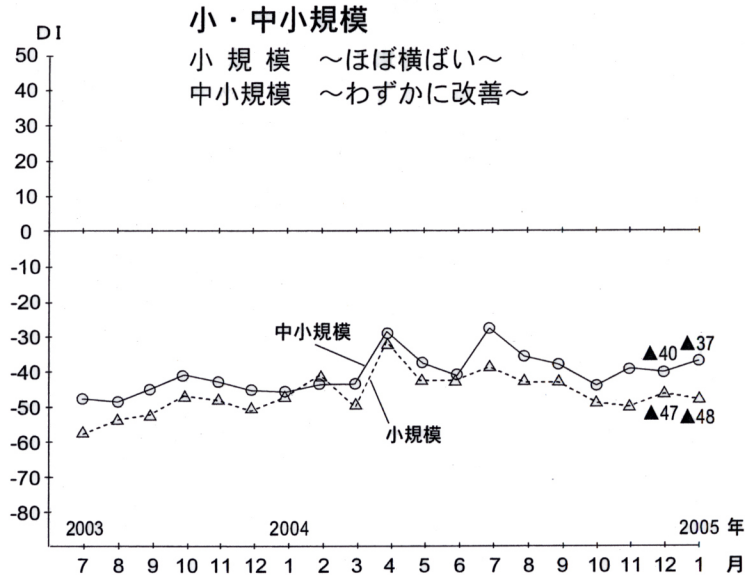


# 業種別



# 規模別

(季節調整済DI)



## ◇ このグラフのみかた

各項目とも0を基準に左右のグラフの長さで業況の「良い」・「悪い」の程度を判断する。ただし◎印は全回答が普通ないしは同様、○印は良い、悪いの回答数が同数を示す。

## ◇ DI (Diffusion Index : 景況判断指数)

指数 (%) の算出方法は次のとおりである。

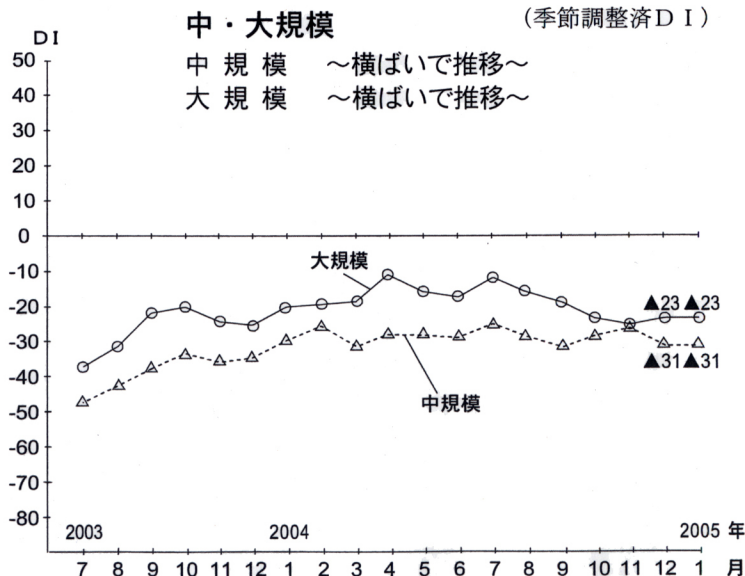
$$DI = \frac{X - Z}{X + Y + Z} \times 100$$

X: 「良い」「増加」「上昇」等の回答企業数

Y: 「普通」「ほぼ同様」等の回答企業数

Z: 「悪化」「減少」「下降」等の回答企業数

従って、DIのプラスは景況の好転(売上の増加等)、マイナスは景況の悪化(売上の減少等)を表している。



製造業			業況					
対象数	回答数	回答率	1月		今後3ヶ月見通し(当月比)			
			悪い	良い	悪い	良い		
1,250	456	36.5%	-100	0	100	-100	0	100
繊維・衣料	1. ニット							
	2. 染色整理							
	3. 婦人・子供服							
	4. シャツ・下着							
	5. 装身具							
木材	6. 家具							
	7. 建具							
紙	8. 紙製品							
	9. 紙製容器							
	10. 出版							
出版	11. 一般印刷							
	12. 軽印刷							
	13. スクリーン印刷							
印刷	14. シール・ラベル印刷							
	15. 製版							
	16. 製本							
	17. 印刷物加工							

製造業			業況					
対象数	回答数	回答率	1月		今後3ヶ月見通し(当月比)			
			悪い	良い	悪い	良い		
1,250	456	36.5%	-100	0	100	-100	0	100
化学	18. プラスチック・ガラス							
	19. 工業用コム・セメント							
皮革	20. 製革(なめし革)							
	21. 製靴							
	22. かばん・袋物							
金属	23. 鉄鋼・非鉄金属							
	24. 刃物・金物							
	25. 建築金物							
材	26. 製缶・板金							
	27. 金属プレス							
	28. 金属塗装							
料	29. 電気めっき							
	30. ボルト・ナット・ねじ							
	31. ばね							
機械	32. 金属加工機械							
	33. 半導体製造装置							
	34. 油圧・空圧機器							
	35. 金型							
器	36. 包装・荷造機械							
	37. 配電盤							
	38. 電気照明器具							
	39. 電子・通信機器							
	40. 電気計測器							
具	41. プリント配線板							
	42. 自動車部品							
	43. 計量器・試験機							
	44. 医療用機械器具							
	45. 光学機械器具							
食料品・その他	46. 水産食料品							
	47. パン・菓子							
	48. めん類							
	49. 貴金属製品							
	50. 玩具							

卸売業			業況					
対象数	回答数	回答率	1月		今後3ヶ月見通し(当月比)			
			悪い	良い	悪い	良い		
1,000	395	39.5%	-100	0	100	-100	0	100
衣料・身の回り品	1. 織物							
	2. 紳士服							
	3. 婦人・子供服							
	4. 下着類							
	5. くつ							
	6. かばん・袋物							
	7. 装身具							
食料品	8. 青果・果実							
	9. 食肉							○
	10. 生鮮魚介							○
	11. 酒類							○
	12. 乾物・加工食品							○
	13. パン・菓子							
	14. 紙・紙製品							
日用品	15. 家庭用品							
	16. 玩具							
	17. 文具・事務機							
	18. 陶磁器・ガラス器							
	19. 医薬品							
	20. 化粧品							
	21. 木材							
建築・住宅関連	22. 板ガラス							
	23. セメント建材							
	24. 管工機材							
	25. 家具							○
	26. 室内装飾品							
化学・金属材料	27. 電設資材							
	28. 塗料							○
	29. 工業用薬品							○
	30. ガラス製品							
機械器具	31. コム・プラスチック							○
	32. 鉄鋼							
	33. 伸銅品							
	34. 鋳							
機械器具	35. 金属加工機械器具							○
	36. 事務用機械器具							
	37. 機械工具							
	38. 自動車部品							
	39. 医療用器械							
	40. 電気機械器具							

小売業			業況					
対象数	回答数	回答率	1月		今後3ヶ月見通し(当月比)			
			悪い	良い	悪い	良い		
1,000	319	31.9%	-100	0	100	-100	0	100
衣料・身の回り品	1. 呉服							
	2. 寝具							
	3. 紳士服							
	4. 婦人・子供服							
	5. 洋品雑貨							
	6. くつ							
	7. かばん・袋物							
	8. 中古品							
	9. メガネ・時計							
	10. 食品スーパー							
	11. コンビニエンス・ストア							
	12. 青果・果実							
	13. 食肉							
	14. 鮮魚							
	15. 弁当・惣菜							
	16. 茶・のり							
	17. 酒							
食料品	18. 米穀							
	19. 乾物・加工食品							
	20. パン							
	21. 菓子							
	22. 家庭用品							
	23. 陶磁器・ガラス器							
	24. 医薬品							
	25. 化粧品							
	26. 文具・事務機							
	27. ガソリンスタンド							
日用品	28. ディスカウント・ストア							◎
	29. 家具・インテリア							
	30. 家電製品							
	31. カメラ							
	32. 貴金属・宝石							
	33. 自転車							
	34. 中古車							
	35. ペットショップ							
	36. 書籍・雑誌							
	37. スポーツ用品							
耐久消費財	38. 玩具							
	39. CD・楽器							
	40. 生花・園芸							
	余暇関連							

サービス業			業況						
対象数	回答数	回答率	1月		今後3ヶ月見通し(当月比)				
			悪い	良い	悪い	良い			
1,000	302	30.2%	-100	0	100	-100	0	100	
企業関連サービス	1. 機械修理業								
	2. 各種物品賃貸業								
	3. 映画・ビデオ制作業							○	
	4. 有線放送業								
	5. ソフトウェア業								
	6. 情報処理サービス業								
	7. 情報提供サービス業								
	8. 広告業								
	9. 建物サービス業							○	
	10. 民営職業紹介業								
	11. 労働者派遣業								
	12. 警備業								
	13. ディスプレイ業								
	14. 土木建築サービス業								
	15. 産業廃棄物処理業								
	16. デザイン業								
	17. 駐車場業								
	18. 道路貨物運送業								
	19. 倉庫業							○	
	20. 運輸付帯サービス業								
	21. 港湾運送業								
	22. 産業用機器賃貸業								
	23. 事務用機器賃貸業								
	24. 専門サービス業								
	25. 医療付帯サービス業								
	26. 計量証明業								
	27. リネンサプライ								
	28. 機械設計業								
	29. 非破壊検査業								
	個人関連サービス	30. クリーニング							
		31. 理容業							
		32. 美容業							
		33. 飲食店							
		34. 自動車整備業							
		35. 旅館業							
		36. 旅行業							
		37. スポーツ施設提供業							◎
		38. 遊戯場業							
		39. 冠婚葬祭業							
		40. 不動産関連業							

# 景況調査協力企業の概要

(平成17年2月調査)

景況調査に毎月ご回答いただき、ありがとうございます。今回は景況調査に協力いただいている企業の概要を調査いたしました。

調査はハガキによるアンケート形式によるもので、調査対象は製造業1,250企業、卸売業1,000企業、小売業1,000企業、サービス業1,000企業で合計4,250企業。有効回収数(有効回収率)は、製造業401企業(32.1%)、卸売業355企業(35.5%)、小売業291企業(29.1%)、サービス業281企業(28.1%)で合計1,328企業(31.2%)です。

## 《概要》

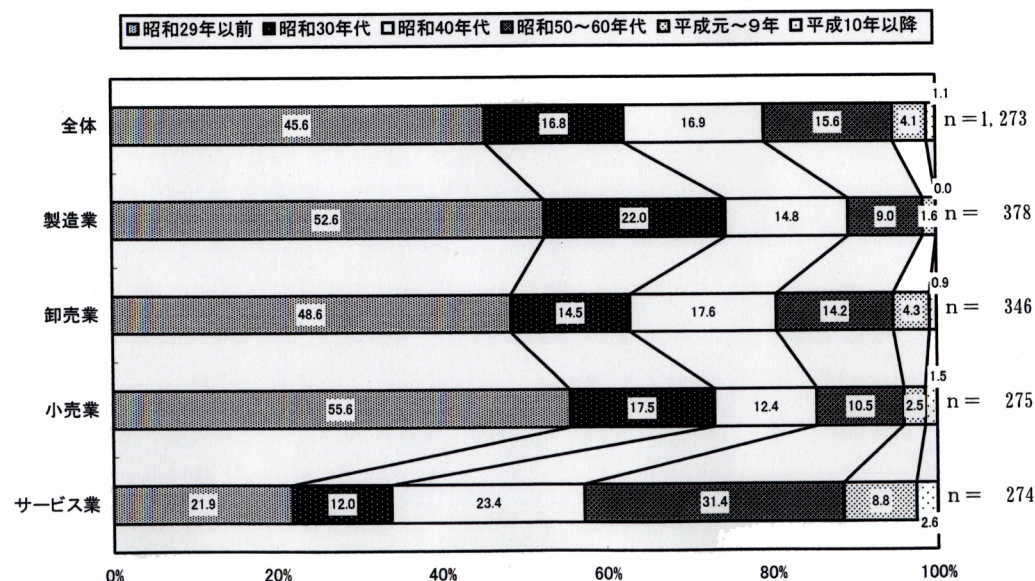
- 創業年は「昭和29年以前」が45.6%と、創業50年以上の企業が約半数を占め、平成以降の創業は5.2%と少ない。製造、卸売、小売業では業歴の古い企業の割合が多い。サービス業は他業種に比べ平成以降創業の割合が多い。
- 経営者の年齢は全体では「60歳代」が約4割で最も多い。小売業は他業種に比べ70歳代以上の割合が多い。サービス業は50歳代までの若い経営者の割合が多い。
- 従業者数規模を業種別にみると、卸売業では「小規模」が44.6%と最も多い。小売業は「大規模」の割合が8.0%と少ない。
- 後継者の状況は、全体では「決まっている」が約4割である。業種別では、特に卸売業で「決まっている」が5割弱と多い。サービス業では「まだ必要ない」が多い。小売業では「廃業予定」が約3割と目立つ。
- 後継者の状況を規模別でみると小規模では「廃業予定」が約3割と多い。中規模では「決まっている」が多く、大規模では「まだ必要ない」が多い。

## 1. 創業年

「昭和29年以前」が45.6%で最も多く、「昭和30年代」が16.8%、「昭和40年代」が16.9%と、業歴の古い企業の割合が多くなっている。平成になってからの創業は5.2%と少ない。

業種別にみると製造業と小売業では「昭和29年以前」が5割以上、卸売業も約5割を占め、この3業種では業歴の古い企業が多い。一方、サービス業の「昭和29年以前」は21.9%と少なく、「昭和50～60年代」31.4%、「平成元～9年」8.8%、「平成10年以降」2.6%と、他業種に比べ、創業年次の新しい企業が多い。

図表1 創業年

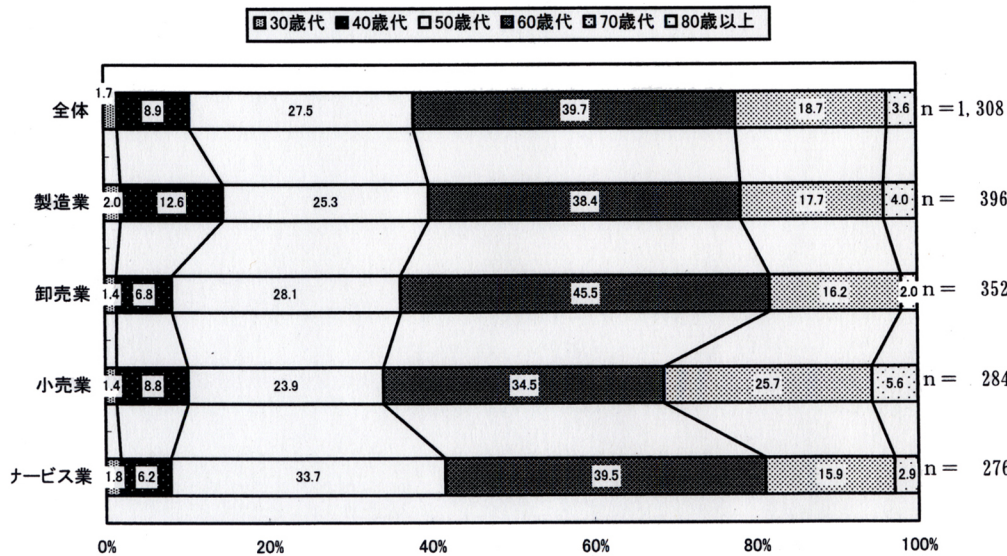


## 2. 経営者の年齢

経営者の年齢は全体では「60歳代」が39.7%と最も多く、次いで「50歳代」が27.5%と、50～60歳代で67.2%を占めている。「70歳代」は18.7%、「80歳以上」も3.6%を占めている。一方「30歳代」「40歳代」は合わせて10.6%にとどまっている。

業種別にみると、製造業は「30歳代」「40歳代」が他の3業種に比べ割合が高く、14.6%である。また、サービス業は30歳代、40歳代を含めた50歳代以下の割合が41.7%と、4業種の中で最も多くなっている。一方、小売業では70歳代以上が31.3%と他業種に比べ多く、高齢化が進んでいることがわかる。

図表2 経営者の年齢

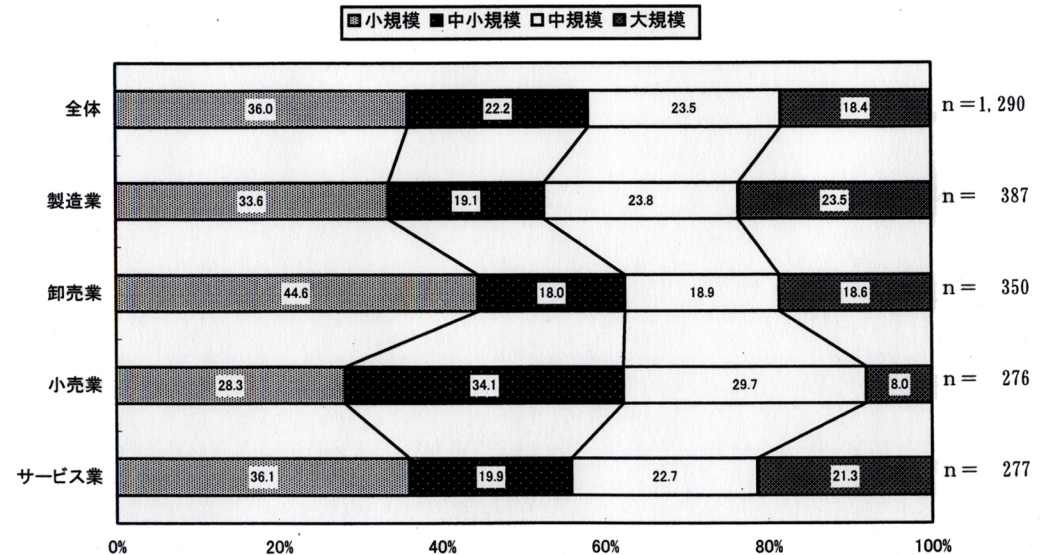


## 3. 従業者数規模

回答企業を下(※)に記載した従業者数規模区分で分けると、全体では「小規模」が36.0%と最も多く、次いで「中規模」23.5%、「中小規模」22.2%、「大規模」18.4%となっている。

業種別にみると、製造業は「大規模」23.5%が多く、「中規模」と合わせると47.3%であり、他業種に比べて規模の大きい企業が多い。卸売業は「小規模」の割合が44.6%と最も多い。小売業では「中小規模」が34.1%と最も多く、「大規模」は他業種に比べ8.0%と少なくなっている。サービス業では「小規模」が36.1%と約4割を占め、「大規模」も21.3%と多い。

図表3 従業者数規模



### ※規模区分

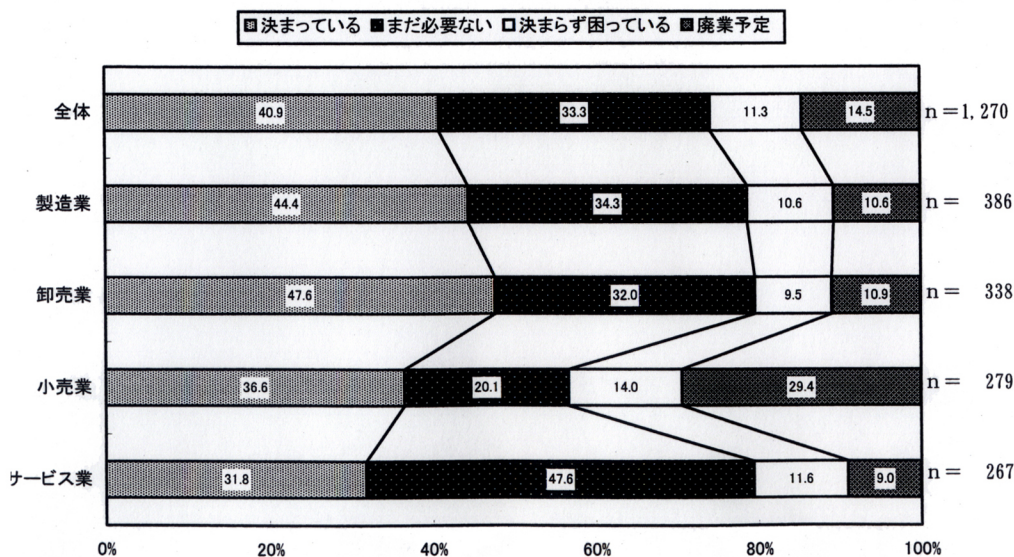
小規模	製造業、卸売業、サービス業 (1～9人)、小売業 (1～2人)
中小規模	製造業、卸売業、サービス業 (10～19人)、小売業 (3～4人)
中規模	製造業、卸売業、サービス業 (20～49人)、小売業 (5～19人)
大規模	製造業、卸売業、サービス業 (50人以上)、小売業 (20人以上)

#### 4-1. 後継者の状況（業種別）

後継者は「決まっている」が40.9%と最も多く、次いで「まだ必要ない」が33.3%、「決まらず困っている」11.3%、「廃業予定」14.5%となっている。

業種別では、特に卸売業で「後継者は決まっている」が47.6%と5割弱を占めており、他業種に比べ後継者の決まっている企業の割合が多い。小売業では「廃業予定」が29.4%と、割合の高さが目立っている。また「決まらず困っている」の割合も他業種に比べて多い。前項2「経営者の年齢」で、小売業経営者の70歳以上の割合が多いという結果を鑑みると、今後小売業の事業所数の減少が、他業種に比べて早く進むことが予測される。サービス業では「まだ必要ない」が47.6%と約半数を占めており、前項1「創業年」でサービス業が他業種に比べて業歴の浅い企業割合が多いこと、前項2「経営者の年齢」で50歳代以下の割合が多いことから、サービス業は経営者の交代の時期にまだ至っていない企業が多いことがうかがえる。

図表4 後継者の状況（業種別）



#### 4-2. 後継者の状況（従業員数規模別）

後継者の状況を従業員数規模別にみると、小規模では「廃業予定」が31.4%と、「決まっている」30.5%、「まだ必要ない」26.7%を上回っており、割合の高さが目立つ。

中小規模では「決まっている」45.0%、「まだ必要ない」29.1%、「決まらず困っている」11.4%、「廃業予定」10.1%となっている。

中規模では「決まっている」が50.3%と半数以上を占め、「まだ必要ない」37.3%、「決まらず困っている」10.3%であり、「廃業予定」は2.1%と少ない。

大規模については他の規模に比べて唯一「まだ必要ない」47.6%が「決まっている」44.9%を上回っている。「決まらず困っている」は6.0%と他の規模に比べて少なく、「廃業予定」は0%となった。

図表5 後継者の状況（規模別）

